

粗大ごみの個別回収は、現在申し込みが集中しており、1カ月以上お待ちいただく状況で、大変ご迷惑をおかけしています。

お急ぎの場合は、桜山地区にある処分場への「自己搬入」をご利用ください。

ご自身で運搬する手間はありませんが、すぐに処理できるうえ、料金もお得です。個別回収では品物ごとに百円単位の手数料がかかります。

粗大ごみの自己搬入

粗大ごみや燃やせるごみは自己搬入ができます



ますが、自己搬入は10kgあたり80円、さらに金属などの資源物は無償で引き取ります。

自己搬入の受付

- ・土日祝日、年末年始を除く
- ・午前9時～午後4時
- ・持ち込む前に、環境生活課または継立出張所で許可証の申請が必要です。

詳しくは、お電話でお問い合わせいただくか「家庭ごみ・資源物の分け方・出し方」冊子の17ページをご覧ください。

燃やせるごみは、千歳市の焼却施設へ自己搬入ができます

年末年始を利用して「断捨離」をされる方も多いでしょう。不要になった衣類やグッズは、リサイクルショップなどで売却することで、環境にもお財布にも優しい循環が生まれます。しかし、すべての品物がい取りの対象にならないのも事実です。買い取りが難しいものが大量に出てしまった場合、次のごみ収集日まで、処分を待つごみ袋が家の中を占領してしまうことになりかねません。

栗山高校吹奏楽局は、6月で3年生が引退し、9人の局員で活動しています。そのうち7人は、他の部活動や生徒会活動を掛け持ちしているため、全員揃うことが少なく、取材した日は局員5人が活動していました。

ひとつの音楽を作り上げる喜び

局長の2年生水上晴登さんは、今年度6人が入部してくれてパートが増えたことがうれしかったと言います。「吹奏楽の良さは、みんなが協力して、一つの音楽を作り上げるところです。演奏する曲をみんなで話し合って決め、楽譜は、インターネットで探し、先生に用意してもらっています。演奏していて、音がしっくりくると、とても楽しいです」と水上さん。

小学生の時からずっとトランペットを続けている1年生の加瀬羽奈さんは、「中学生の時は、大人で演奏していましたが、今はソロパートもあって、目立つのが楽しいです」

す」と笑顔で話します。

2年生になってから入局した澤野翔太さんは、クラリネット担当。「ロングトーンやリズムをとるのが難しいです。初めは楽譜を読むのが大変でしたが、演奏するのは楽しいです。」と言います。

「低音を聞くと落ち着きます。担当しているバリトンサクソフの音が気に入っています」と話す2年生の笹森翔太さんは、高校生になってから吹奏楽を始めました。

誇れる賞をとりた

指導者が町外からの外部講師で、指導日が限られるため、普段は上級生が下級生を指導しているそうです。「自分の担当ではない楽器を教えるのは苦労も多いです。演奏していて、ハーモニーが合うときは、みんなの絆を感じます。局員が少ない分、一人一人が輝ける場所がとて良いです」と話す2年生鈴木理仔さんからは、吹奏楽が本当に大好きなんだと伝わってきます。



催されるアンサンブルコンテストに向けて練習中です。全員で力を合わせて、誇れる賞を取ることが今後の目標と、みんなは目を輝かせていました。

こんな時こそ、ご活用いただきたいのが、燃やせるごみの焼却処分場への「自己搬入」です。

千歳市の焼却施設へごみを持ち込む大きなメリットは、通常の土曜日も受け入れを行っていることです。週末を利用して、ご自宅の燃やせるごみをまとめて処分できます。

受付時間は午前8時30分～午後4時30分、お休みは、日曜日と1月1日(休)～3日(出)です。

【ご注意ください点】

- ①搬入の際は、栗山町民であることを確認するため、運転免許証など住所のわかるものをご提示ください。
- ②町の指定ごみ袋は不要ですが、焼却炉の投入口に入るよう、63cm四方以下の袋をご利用ください。
- ③処理手数料は10kgあたり80円です。

千歳市の焼却施設は車に乗ったまま計量します。広々とした施設への搬入はちょっとしたアトラクション気分です。ただごみを捨てるだけではなく、ご自身が出すごみの処理過程を体験し、環境への意識を高めるため、ご家族連れでのご利用をおすすめします。

コンポストや生ごみ処理機の購入費補助をしています

町では焼却処分する「燃やせるごみ」の減量化のため、生ごみの含有水分量を減らす「生ごみ処理機」や、たい肥化するための「コンポスト」の購入費補助を行っています。

詳しくは広報くりやま5月号の5ページに掲載していますので、ぜひご利用ください。

